

国営ひたち海浜公園



(表紙写真提供：国営ひたち海浜公園)

太陽の光が水面にきらめく太平洋に面し、四季折々の美しい花々が咲き誇る都市公園「国営ひたち海浜公園」は、茨城県を代表する人気観光スポットの1つとして知られています。

平成26年度に「いばらきイメージアップ大賞」、平成29年度に「県民が知人に自慢したい話題」第1位に選ばれるほか、書籍「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」への掲載、米国CNNが発表した「日本の最も美しい場所」31選に選ばれるなど、国内外から熱い注目を浴びています。

ひたち海浜公園は、昭和48年に在日米軍より返還された水戸対地射爆撃場の跡地「ひたちなか地区」内に位置しています。平成3年に公園の一部が開園、現在は総面積350haを誇ります。

公園の中央部には、ひたちなか市で最も標高が高い場所があります。それは、ネモフィラやコキアが一面を埋め尽くすことで有名な「みはらしの丘」です。この丘は、周辺の建設工事で発生した土を58mの高さまで積み上げたことで生まれました。

ネモフィラは英語名で「Baby blue eyes」、和名を「瑠璃唐草」といいます。原産は北アメリカで、花の大きさは約2~3cm、草丈は約20cmです。1年草のため、毎年11月下旬から約3.5haもの面積に、手作業で種をまいています。

見頃となる4月中旬~5月上旬、ぜひ、ご家族・ご友人とともに春風そよぐ丘に立ち、小さく可憐な花が丘一面をブルーに染め上げるパノラマを楽しんでみてはいかがでしょうか。



- ◆ 場所：茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
- ◆ アクセス：
 - 【車】常磐自動車道・北関東自動車道経由、常陸那珂有料道路ひたち海浜公園ICよりすぐ
 - 【電車】JR常磐線「勝田駅」よりバスで約15分